

知的財産関連の動向

最近の WIPO の動き (28)

世界知的所有権機関 (WIPO) 日本事務所*

1. はじめに

本稿では、WIPO の最近の動きとして、以下の4つを紹介する。

- ・ 第2回 WIPO グローバル・アワード募集開始
- ・ 世界知的財産の日 2023 動画コンテスト募集開始
- ・ 第7回「知的財産と先端技術に関する WIPO 対話」開催のご案内
- ・ PCT 国際公開番号の付与エラーのご連絡

2. 第2回 WIPO グローバル・アワード募集開始

WIPO では、知的財産を活用して国内外に影響を与える優れた企業や個人を表彰する WIPO グローバル・アワードを昨年より開始している¹⁾。このプログラムは、人々の生活の向上と進歩に貢献する人々を称え、支援することを目的としており、受賞者には、国際的なプロモーションや認知度の向上、授賞式への出席とトロフィーの授与、知的



第1回 WIPO グローバル・アワード表彰式の様子

財産の商業化に向けたメンターシップ・プログラムなどの特典がある。昨年は日本企業を含めて5社が受賞した²⁾。

本年 2023 年に開催される第2回 WIPO グローバル・アワードの対象は、昨年に引き続き「中小企業」³⁾となった。応募資格は、テクノロジーや農業、クリエイティブ産業など、経済のあらゆる分野で活躍する中小企業であり、産業財産権だけでなく、著作権、地理的表示など、あらゆる形態の知的財産を使用した応募が可能である。そして、応募の際は、経済的／社会的／文化的貢献、男女平等や世界的課題への取り組みなど、企業の成功のために知的財産権をどのように活用したかを説明する必要がある。第1次段階の選考で最大20社がノミネートされ、その結果はWIPOのメディアで発表される。その後、技術、ビジネス、クリエイティブ産業、投資、イノベーションなど様々な分野を代表する世界各国の有識者からなる国際審査委員会により、ノミネートされた20社から、知的財産を活用して特に優れた社会貢献を果たした中小企業、最大7社が最終受賞者として選定され、その結果は授賞式で発表される。この授賞式は、2023年7月、WIPO総会の特別行事として開催される予定であり、受賞者には昨年と同様の特典が付与される予定である。

* WIPO の外部事務所の1つ。東京・霞が関に位置する。詳しくは、WIPO 日本事務所のウェブページを参照されたい：

<https://www.wipo.int/about-wipo/ja/offices/japan/>
また、WIPO や WIPO 日本事務所の主要な活動については、ニュースレター（四季報）にて定期配信中：
https://www3.wipo.int/newsletters/ja/#wipo_japan

本アワードへの応募は無料であり、参加申し込みはオンラインで受け付けている⁴⁾。なお、参加申込は国連公用語の6か国語（アラビア語、中国語、英語、フランス語、ロシア語、スペイン語）のいずれかで行っていただく必要がある。応募締切は2023年3月31日（金）までを予定しており、その他、参加方法や選考プロセスなどの詳細は、WIPO 日本事務所ウェブサイトにおいて日本語で公表している⁵⁾。日本からも知的財産を積極的に活用する多くの中小企業が応募されることが期待される。

3. 世界知的財産の日 2023 動画コンテスト 募集開始

4月26日は、世界知的所有権機関（WIPO）を設立する条約が発効した日に由来して、「世界知的財産の日（World IP Day）」に指定されており、毎年テーマを設定したうえで、当該テーマの下で知的財産の意義や役割についての理解を深めるための各種イベントが世界各国で行われている。本年2023年のテーマは「女性と知財—イノベーションと創造性を加速する力」であり、世界中の女性発明家、クリエイター、起業家の活躍を取り上げつつ、直面する課題について考える機会を提供する予定である。

このような中、WIPO は同テーマの下、「世界知的財産の日 2023 動画コンテスト」の応募を開始した⁶⁾。本コンテストは、あらゆる人々に利益をもたらすより良い未来を築くために、女性の知的財産分野への参画がイノベーションと創造性を加速させることに関し、世界中のアイデアを共有することを目的としている。本コンテストでは、女性が知財に参入することの重要性や、それがどのようなメリットがあるのかを表現する90秒の動画を募集している。

オンライン⁷⁾にて、日本語を含む8言語で応募が可能であり、応募締切は3月19日23時59分（CET：中央ヨーロッパ標準時）を予定⁸⁾している。最終選考に残った10本の作品は、4月13日にコンテスト・プラットフォーム上で公開される予定

である。その後、コンテスト入賞者を選ぶオンライン公開投票が行われ、受賞作品は4月26日の「世界知的財産の日」に発表される。なお、第1位から第3位の受賞者には、順位に応じた金額相当の電子機器が送られるとともに、上位10作品の制作者には、WIPO アカデミーが実施する研修を受講する権利が与えられる。上述のWIPO グローバル・アワードと同様、ぜひ多くの日本の皆様にご応募いただき、知的財産分野における女性の活躍を後押しいただきたい。

なお、世界知的財産の日に関して、WIPO 日本事務所では、4月25日に上記テーマの下で記念シンポジウムを開催し、女性活躍やイノベーション、知的財産制度等を推進する各界の有識者にご登壇いただき、多様性のある社会における知的財産の意義や役割について情報発信を行う予定である。こちらにも足をお運びいただければ幸いである。

4. 第7回「知的財産と先端技術に関する WIPO 対話」開催のご案内

「知的財産と先端技術に関する WIPO 対話」（WIPO Conversation on Intellectual Property and Frontier Technologies）は、加盟国に対してAIをはじめとする先端技術の知財をめぐる各種トピックに関する対話と意見交換の機会を与えること、および、先端技術が知的財産システムに与え得る課題を形成することを目的とした取り組みである⁹⁾。2019年に開始されて以降、これまで6回の会合が開催されてきたが、その次回セッションとなる第7回目の会合が「知的財産とメタバース」というテーマの下、2023年3月29—30日の2日間にわたって開催されることが公表された¹⁰⁾。

娯楽からビジネスまで、広い業界で関心を集めている仮想世界であるメタバースは、インターネットの次のステージとも認識されている。その技術や展開は発展途上であるが、メタバースは、市場、資産価値、企業活動などの面で、世界中で変革を続けており、新しいデジタル経済を引き起こす可能性があると考えられ、経済成長を促進し、その恩恵を世界中の場所・人にもたらす機会を提

供するかもしれない。そして、そのような状況の下、知的財産は、メタバースを構築し、経済活動と成長を生み出すための基盤を提供するイノベーション促進の主要な原動力である。

3月に開催予定の今次第7回会合では、AI、ブロックチェーン、NFT、AR・VR技術、IoT（モノのインターネット）、メタバースが既存の知的財産システムにもたらす課題、等について議論される予定である。世界各国よりステークホルダーを集め、これらの課題に向けた議論の方向性を提供することで、イノベーションの促進を目指す。具体的には、メタバースの基礎、メタバース関連の最新技術、ビジネスモデルや知財戦略、仮想商品の商標や仮想デザインの保護、ゲーム業界における知財の現状、知財のエンフォースメントの在り方、メタバースに関する知的財産庁の現状、等について、パネルディスカッションや専門家による講演等により、情報提供がなされる予定である。

本会合はハイブリッド形式で開催され、新型コロナウイルスの状況に鑑み、現地での参加はWIPO加盟国の公式代表者とオブザーバーに限定されるが、どなたでもオンライン（Zoom）で視聴することが可能である¹¹⁾。メタバースと知的財産との関係に関しては、日本国特許庁が昨年2022年に開催した「特許庁政策推進懇談会」¹²⁾においても、NFT化した画像データの意匠権保護などが検討課題として提示・議論されたところであり、今後、メタバースの進展に伴い顕在化する知的財産の課題について議論が活発化することが予想される。ぜひ、本会合をご視聴いただき、世界各国のメタバースと知的財産の状況を把握する機会にしたい。

5. PCT 国際公開番号の採番エラーのご連絡

2023年当初の3週間、WIPOのソフトウェアの不具合により、国際公開の採番について、2022年中に使用された国際公開番号に継続する形で国際公開番号が付与されてしまう事象が生じていた（すなわち、WO 2023/000001から始まっていない）¹³⁾。このため、2023年1月5、12、19日に付与され

た国際公開番号は、例年と異なり以下のとおり採番されている。

国際公開 01/2023

— 国際公開件数 6807 件
— 2023/272317～2023/279123

国際公開 02/2023

— 国際公開件数 4536 件
— 2023/279124～2023/283659

国際公開 03/2023

— 国際公開件数 4684 件
— 2023/283660～2023/288343

なお、国際公開 WO 2023/000001 の国際公開番号は、1月26日の国際公開から採番されており、また、すでに1月の国際公開で使用された国際公開番号は、2023年末の国際公開では使用されずに、飛ばされた形で付与されることとなる。

ご利用の方におかれては、ご留意をいただければ幸いです。

(注)

- 1) 関連する WIPO ウェブサイト（日本語）：<https://www.wipo.int/global-awards/ja/>
- 2) 2022年に開催された第1回WIPOグローバル・アワードの受賞者は、株式会社 Splink（日本）、Hydraloop（オランダ）、Lucence（シンガポール）、Raycan（中国）、Shylon（中国）の5社
- 3) 世界銀行の定義に従い、「従業員数300人以下、年間売上高1,500万米ドル以下の企業」を中小企業としている。
- 4) 応募サイト（英語）：<https://global-awards.wipo.int/>
- 5) 関連する WIPO ウェブサイト（日本語）：<https://www.wipo.int/global-awards/ja/2023/>
- 6) 関連する WIPO ウェブサイト（日本語）：<https://www.wipo.int/ip-outreach/ja/ipday/2023/video-competition.html>
- 7) 世界知的財産の日2023 動画コンテスト応募サイト（日本語選択可能）：<https://wipd-2023-video-competition.wipo.int/>
- 8) 日本時間で3月20（月）6時59分（予定）。
- 9) 関連する WIPO ウェブサイト（英語）：https://www.wipo.int/about-ip/en/frontier_technologies/
- 10) 関連する WIPO ウェブサイト（英語）：<https://>

[www.wipo.int/about-ip/en/frontier_technologies/
frontier_conversation.html](http://www.wipo.int/about-ip/en/frontier_technologies/frontier_conversation.html)

- 11) 本イベント参加登録はこちら (英語) : [https://wipo-int.zoom.us/webinar/register/WN_I-iCVHB0SX
OtqWokfBhkNg](https://wipo-int.zoom.us/webinar/register/WN_I-iCVHB0SXOtqWokfBhkNg)
- 12) 日本国特許庁ウェブサイト : [https://www.jpo.go.jp/
resources/shingikai/kenkyukai/kondankai/index.html](https://www.jpo.go.jp/resources/shingikai/kenkyukai/kondankai/index.html)
- 13) 関連する WIPO ウェブサイト (日本語) : [https://
www.wipo.int/export/sites/www/about-wipo/ja/
offices/japan/docs/pct_publication_january_2023.pdf](https://www.wipo.int/export/sites/www/about-wipo/ja/offices/japan/docs/pct_publication_january_2023.pdf)

(原稿受領日 2023年2月6日)